

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・ 8 日・ 12 日

(12枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	久保 教仁議員	1 伊佐の地方創生農業政策は大丈夫か	<p>(1) 昨年の 9 月定例会で地方創生事業に関して、「どのような伊佐市を目指すのか」とその概略を質問した。1 年を経た今回、地方創生という観点から農業政策全般について具体的な考えを伺う。</p> <p>(2) 昨年の 9 月定例会の答弁で、6 次産業化と飼料米について触れられ、「カミチクと農家との間がうまく連携が取れていくようにする。これは行政の仕事だ。」と明言している。カミチクの加工品と伊佐の飼料米提供は、この 1 年でどのように好転しているか。</p>	市長	

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・8 日・12 日

(12枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	諏訪 信一議員	<p>1 新知事誕生について</p> <p>2 参議院選挙の伊佐市の 18～19 歳の投票率の結果について</p> <p>3 土曜授業について</p>	<p>聞こう、語ろう、対話の県政を目指し 7 月 28 日新しい鹿児島を創るために、6 つのマニフェストを発表し、新しい知事が誕生した。知事が交代したことによって、次のことについて自治体への影響はないのか。</p> <p>(1) 医療費</p> <p>(2) 給食費</p> <p>(3) 奨学金等</p> <p>(1) 18 歳の投票結果 (男女別に)</p> <p>(2) 19 歳の投票結果 (男女別に)</p> <p>(3) 期日前の投票率は。</p> <p>(4) 投票率が低かった理由は。</p> <p>(5) 市長選、市議選への対応は。</p> <p>土曜授業の内容は主に教師と子ども、地域の人との交流、体験活動を通して、あわせて学力向上を目的としている。</p> <p>(1) 土曜授業を実施して、生徒や教師にゆとりが生まれたのか。</p> <p>(2) 学力向上につながったのか。</p> <p>(3) 地域との交流は。</p> <p>(4) 土曜授業の目的、意義が生徒や保護者に理解されているのか。今後の取組は (今日までの取組を踏まえて)。</p>	<p>市長</p> <p>選挙管理委員会委員長</p> <p>教育長</p>	

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・8 日・12 日

(12枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	中村 周二議員	1 霞が関子ども旅券 2 合宿誘致	(1) 霞が関のいろいろなところを小学生、中学生の生徒に楽しく勉強をさせる旅券がある。伊佐市でも、関心を高めるために夏休み、冬休みに、日にちを決めて市役所旅券等考えられないか。 (1) オリンピックと国体が 32 年にあるが、外国のオリンピック選手を、伊佐でオリンピック前に合宿させることはできないか。そういう考えはないのか。 (2) 東京オリンピックでボルダリングが種目として増えるとのことだが、伊佐市でも練習をするところを作る計画はできないか。いい場所があると思うが。	教育長 市長	

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・8 日・12 日

(12枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	前田 和文議員	<p>1 市道改良の進捗状況を詳細に示されたい。</p> <p>2 東小学校の補修工事実施予定を詳細に示されたい。</p>	<p>(1) 永尾金波田線の全体計画、完了部分、今年度及びそれ以降の計画、課題を問う。</p> <p>(2) 大道下青木線の全体計画、完了部分、今年度及びそれ以降の計画、課題を問う。</p> <p>(3) 篠原下目丸線の全体計画、完了部分、今年度及びそれ以降の計画、課題を問う。</p> <p>(4) 木ノ氏牛尾線（牛尾小学校前付近）の今年度及びそれ以降の計画、課題を問う。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p>	

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・ 8 日・ 12 日

(12枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	鶴田 公紀議員	<p>1 伊佐市衛生センターについて</p> <p>2 農業問題について</p>	<p>(1) センター建設の進捗状況と完成時期は。</p> <p>(2) 受注業者及び入札価格は。</p> <p>(3) 放流先が曾木の滝直下であるが、公園整備の景観との関連は。</p> <p>(4) 合併浄化槽の整備状況は。</p> <p>(5) 現在の処理施設の跡地利活用は。</p> <p>(1) 後継者不足の対応は。</p> <p>(2) 耕作放棄地増に対する方策は。</p> <p>(3) 国は今秋に農業強化の具体策を発表するというが当市の対策は。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・8 日・12 日

(12枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	緒方 重則議員	1 企業誘致について	<p>地元で生まれ育つ若者や交流人口増による定住促進を図るとき、就労場所の有無が課題となる。企業訪問等による誘致も厳しい今こそ、カミチクグループとの関係を重要視する必要があると思う。</p> <p>(1) 平成 24 年 4 月、県から民間移譲された旧育成牧場は事業母体の県地域振興公社が 5 か年計画において整備することとなっているが、カミチクの運営と共にその現状について伺う。また、県・市・地元自治会との連携及び水質管理は大丈夫か。</p> <p>(2) カミチクが指定管理者となって伊佐牧場（夢さくら館）を運営、順調に成果が上がっていると思うが、より連携を深めていく策の検討はされていないのか。</p> <p>(3) カミチクは、日本初の 6 次産業化を図る目的で、(株)ビースマイルプロジェクトに共同出資しスタートした。市にとって雇用、畜産業の発展、地域浮揚等大きなチャンスであることに間違いのないと思うが市長の見解を伺う。</p>	市長	

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・8 日・12 日

(12枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	柿木原榮一議員	1 地方創生について	<p>(1) 伊佐市も人口減少になってくる。国土交通省は「高次地方都市連合」、経済産業省は「都市雇用圏」を始めた。連携中枢都市圏構想の考え方があるが、どのように思っているのか。</p> <p>(2) 人口減少に伴う市街地の計画縮小の考え方と、地域の経済成長を進めるコンパクトシティとネットワークで政策的連携をどう思われているのか。</p> <p>(3) 居住誘導区域の設定の考え方は。</p> <p>(4) 旧大口市には、大口都市計画の種別の区割りがあるが、審議会等で見直される可能性はないのか。</p>	市長	
		2 伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	<p>(1) 6月議会の一般質問後のDMOについてさつま町との対応と動きについて</p> <p>(2) 両市町は、川内川・北さつま農協という共通点はあるが、伊佐市は始良伊佐地域振興局の管轄で、さつま町は北薩地域振興局の管轄である。DMOの障害にはならないか。</p> <p>(3) どの自治体も創生総合戦略に食の文化を入れてあるが、どのような考え方か。</p> <p>(4) 関係する中に、DMOに手を挙げる団体・個人が出てきそうか。</p> <p>(5) DMOは民間等の主導だが、行政がどの程度関与されていくのか。</p>	市長	

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・8 日・12 日

(12枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	左近充 議員	<p>1 地域農業の将来に関するアンケート調査について</p> <p>2 農業所得向上について</p>	<p>(1) 「地域農業は 10 年後どのようになっているか」の回答は。</p> <p>(2) 「地域農業を持続可能なものにするために、今後どうしたらいいか」の回答は。</p> <p>(3) 「青年就農者が入ってくる必要性」の回答は。</p> <p>(4) 「あなた自身の経営は地域の中でどういう位置付けか」の回答は。</p> <p>(5) 「自身の経営を今後どうしていく予定か。また、農地、後継者について」の回答は。</p> <p>(6) 「中間管理機構の活用」の回答は。</p> <p>(7) 若年農業者が減少し、高齢化が進むが後継者の目処はつかないという回答が圧倒的に多いが対策は。</p> <p>(1) 食用米について</p> <p>(2) 稲発酵粗飼料（WC S 用稲）の栽培について</p> <p>(3) 飼料用米の栽培について</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・8 日・12 日

(12枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	岩元 克頼議員	<p>1 伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p> <p>2 企業誘致施策について</p> <p>3 地域資源と創業支援等について</p>	<p>(1) 目標として、2060年人口15,000人、世帯別人口割合を現在と同じ割合に戻すとしているが、このときの伊佐市の姿というのはどういうものか。</p> <p>(2) 高校生の発案によるICTとシェアハウスの導入による農業後継者育成事業があるが、これは必ず実現して若い人達の期待に応えなければならない事業と考える。現状と展望を示されたい。</p> <p>(3) 6次産業化の実情はどうか。</p> <p>(4) 交流人口増加がどの程度定住人口増加につながると考えるか。61万人から70万人となったとき、どのような効果を見込むか。</p> <p>(5) 農地取得の下限面積が30アールとなったが、移住、定住の人に限り10アールまで引き下げることが考えられないか。</p> <p>(1) 企業誘致を成功させるため、どのような戦略・戦術をとっているか。</p> <p>(1) 伊佐市になってから、市が関与することで地域資源を活用し、創業や事業拡大により就業人口を増やすことができた実例を示されたい。また、今後力を入れるべき分野を具体的に示されたい。</p>	<p>市長</p> <p>農業委員会委員長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・8 日・12 日

(12枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	沖田 義一議員	<p>1 伊佐市営住宅について</p> <p>2 児童生徒や市民の体力、競技等について</p>	<p>伊佐市営住宅条例第 3 条において「市は、住宅に困窮する低額所得者に低廉な家賃で入居させるために、市営住宅(共同施設を含む。)及び改良住宅を設置する。」とあり、その実現のため日々努力されているが、次のことについて質問する。</p> <p>(1) 市営住宅の戸数と入居数の充足率について</p> <p>(2) 現在、入居待ち状態である戸数はどの程度か。</p> <p>(3) 現在、小水流団地を解体し、建替事業を行うこととなっているが、戸数と完成時期を伺う。また、家賃、間取り等について伺いたい。</p> <p>(4) 新しい小水流団地に戻ってくる方の家賃について伺いたい。</p> <p>(5) 今後の市営住宅の廃止及び新築住宅、建替住宅の計画について伺いたい。</p> <p>(6) 伊佐市営住宅条例施行規則 (住宅の転居申請及び承認通知) 第 20 条 条例第 5 条第 4 号から第 6 号までの事由により他の市営住宅に転居を希望する者は、市営住宅転居承認申請書を市長に提出しなければならない。とあるがこのことについて伺いたい。</p> <p>(1) 小中学校の体力測定の結果について伺いたい。</p> <p>(2) 児童生徒の競技力について伺いたい。 大口中央中学校は、合併して 2 年目であるが山野、大口、大口南中としてあったときとの違いはどうか伺いたい。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p>	

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・8 日・12 日

(12枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	福本千枝子議員	<p>1 子育て支援策について</p> <p>2 プルタブ・エコキヤップ運動の推進について</p>	<p>本市も少子高齢化の波は留まることなく、人口減少が続いている。交流人口から定住人口が重点施策であるが人口増は難しいと感じる。人口減少に歯止めをかけるためには「子どもを産み育てる環境」そして産める人に産んでもらうことの構築が必要と考える。そこで次の項目について伺う。</p> <p>(1) 本市の出生率の目標値は 2.14 人となっているが、現在の状況は。</p> <p>(2) 不妊治療については国、県の補助に加え市単独助成をしているが、利用状況は。</p> <p>(3) 保育料については第 3 子から無料であり有難い事業である。このことで市の負担は。</p> <p>(4) 病児病後児保育は羽月保育園のみである。各保育園に看護師の配置はできないか。</p> <p>(5) 小児科医の対応は充実しているが、現在の状況は。</p> <p>(6) 「子ども安心医療助成事業」については全国のほとんどの自治体が中学生まで無料化しているが、このままでいくのか。また、中学生まで無料化した場合の試算は。</p> <p>(7) 奨学金制度の利用状況と返納状況は。</p> <p>プルタブで「車イス」ペットボトルのキャップで「世界の子どもにワクチン」をとということが全国展開されている。本市でも、小学校、社協、ふれセン、シルバー人材センター、レクダンスの会員等それぞれ収集している。子どもの教育にも大事なことで「環境・資源・福祉」をテーマに伊佐市民で取り組めないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長、教育長</p>	

平成 28 年第 3 回定例会一般質問

平成 28 年 9 月 6 日・ 8 日・ 12 日

(12枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	畑中 香子議員	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 子どもの貧困対策について</p> <p>3 ゴミ問題について</p>	<p>(1) 財政問題について財政調整基金の額や地方債の額など市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 生活道路改修や公園管理など市民サービスについて。</p> <p>(1) 新知事が子ども医療費の現物給付を公約に掲げて当選したが、これが実現した場合、本市は子ども安心医療による医療費助成の部分は、現時点で自動償還払いにすらなっておらず、窓口無料の制度にならないが、このことについての見解を伺う。</p> <p>(2) 子ども医療費助成の拡充を求める声が大きいが、対象年齢の拡大と自己負担の無料化を早急に検討せよ。</p> <p>(3) 就学援助制度について、新知事は学校給食費の低所得者完全無料も公約としているが、伊佐市としても就学援助の学校給食費全額補助の取組をすすめるべきではないか。</p> <p>(1) ゴミ袋の価格が県下でも高く、市民にとって負担になっている。ゴミの処理に関しては住民がその処理費用を負担することは廃掃法に触れるおそれがある。ゴミ袋代金が住民にとって負担となっていることから袋代金の値下げを検討すべきではないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	